

Pharmacology

2 units 3rd-year(2nd semester)

Katsuhiko Yoshimoto · PROFESSOR / PHARMACOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Yasuko Ishikawa · ASSOCIATE PROFESSOR / PHARMACOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Noriko Mizusawa · ASSISTANT PROFESSOR / PHARMACOLOGY, COURSE IN DENTISTRY

Takeo Iwata · ASSISTANT PROFESSOR / PHARMACOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Hiroyuki Fukui · PROFESSOR / INSTITUTE OF HEALTH BIOSCIENCES, Toshiaki Tamaki · PROFESSOR / INSTITUTE OF HEALTH BIOSCIENCES

Yutaka Nakaya · PROFESSOR / INSTITUTE OF HEALTH BIOSCIENCES, Hiroshi Bandou · PART-TIME LECTURER, Masamichi Kuwajima · PART-TIME LECTURER

Target) 薬物および生理活性物質の作用の基本的メカニズムを理解し、疾患の治療や予防に適する薬物を選択する能力を身につける。

Outline) 薬物と生体の相互作用の結果おこる現象や作用機序について、個体レベル、細胞レベルおよび分子レベルで学ぶ。

Style) Lecture

Manner) 講義(プリント, スライド)

Location) 第1講義室

Theme) 薬物の作用および薬物と生体の相互作用を生理学的・生化学的基礎から理解する。

Notice)

- ・受講者は毎回の講義において、予習・復習の内容を予習・復習帳にまとめること。
- ・予習・復習帳の提出を求めることがある。
- ・試験は全講義数の2/3以上の出席を満たしている者に対して行う。

Goal) (＜> 内はコアカリ対応)

1. 利尿薬・輸液について説明できる。 <D-5-(2)-3>
2. 血液疾患治療薬について説明できる。 <D-5-(2)-3>
3. 呼吸器病治療薬について説明できる。 <D-5-(2)-3>
4. 消化器病治療薬について説明できる。 <D-5-(2)-3>
5. 平滑筋に作用する薬物について説明できる。 <D-5-(2)-3>
6. 内分泌疾患治療薬について説明できる。 <D-5-(2)-3>
7. ビタミンの作用, 静脈栄養・経腸栄養について説明できる。 <D-5-(2)-3>
8. 糖尿病, 脂質異常症, 痛風治療薬の種類と作用メカニズムを説明できる。 <D-5-(2)-3>
9. 局所麻酔薬の種類と作用メカニズムを説明できる。 <D-5-(2)-3>
10. 鎮痛薬・解熱鎮痛薬の種類と作用メカニズムを説明できる。 <D-5-(2)-3>
11. 抗炎症薬について説明できる。 <D-5-(2)-3>
12. 防腐薬・消毒薬の種類と作用メカニズムを説明できる。 <D-5-(2)-3>

13. 腐蝕薬と収斂薬の種類と作用メカニズムを説明できる。 <D-5-(2)-3>
14. 抗感染症薬について説明できる。 <D-5-(2)-3>
15. 免疫調節薬について説明できる。 <D-5-(2)-3>
16. 抗悪性腫瘍薬について説明できる。 <D-5-(2)-3>
17. 中毒治療薬について説明できる。 <D-5-(2)-3>
18. 口腔疾患に用いられる薬物の種類と作用メカニズムを説明できる。 <D-5-(2)-3>
19. 漢方薬の特徴を説明できる。 <D-5-(2)-3>

Schedule)

| | 大項目 | 中項目 | 内容 | 到達目標 | 担当 |
|--------|---------|-------------|-------------------------|------|----------|
| 1~2. | 薬理学各論 | 体液平衡作用薬 | 腎臓の機能, 利尿薬 | 1 | 玉置 |
| 3. | 〃 | 血液系作用薬 | 抗凝血薬, 貧血に用いられる薬物, 抗血小板薬 | 2 | 吉本 |
| 4. | 〃 | 呼吸器系作用薬 | 呼吸興奮薬, 鎮咳薬, 去痰薬, 抗喘息薬 | 3 | 〃 |
| 5. | 〃 | 消化器系作用薬 | 消化管・肝・膵疾患治療薬 | 4 | 石川 |
| 6. | 〃 | 平滑筋作用薬 | 収縮薬, 弛緩薬 | 5 | 〃 |
| 7~8. | 〃 | 内分泌系作用薬 | ホルモンおよび拮抗薬 | 6 | 吉本 |
| 9~10. | 〃 | 代謝系作用薬 | 糖尿病・脂質異常症・痛風・肥満治療薬 | 8 | 吉本 桑島 |
| 11~12. | 〃 | ビタミン・栄養, 輸液 | ビタミン薬, 静脈栄養, 経腸栄養, 輸液 | 1, 7 | 水澤 |
| 13~14. | 歯科薬理学各論 | 局所麻酔薬 | コカイン, 合成局所麻酔薬 | 9 | 石川 |
| 15~16. | 〃 | 麻薬性鎮痛薬 | モルヒネ関連の鎮痛薬, 拮抗薬 | 10 | 〃 |
| 17. | 〃 | 解熱鎮痛薬 | 非ピリン系・ピリン系薬 | 〃 | 〃 |
| 18~19. | 〃 | 抗炎症薬 | ステロイド系抗炎症薬, 非ステロイド系抗炎症薬 | 11 | 吉本 |
| 20. | 〃 | 防腐薬 | 防腐, 消毒 | 12 | 石川 |
| 21. | 〃 | 腐蝕薬と収斂薬 | 腐蝕, 収斂 | 13 | 〃 |

| | | | | | |
|--------|---|--------------|---------------------------------------|--------|----|
| 22~24. | 〃 | 抗感染症薬 | 抗菌薬, 抗ウイルス薬, 抗真菌薬, 抗結核薬, 抗原虫薬 | 14 | 吉本 |
| 25. | 〃 | 免疫系作用薬 | 免疫刺激薬, 免疫抑制薬, 抗アレルギー薬 | 15 | 〃 |
| 26~27. | 〃 | 抗悪性腫瘍薬 | 抗腫瘍薬, 分子標的治療薬 | 16 | 石川 |
| 28. | 〃 | 中毒と薬 | 中毒, 解毒薬 | 17 | 吉本 |
| 29. | 〃 | 口腔疾患治療薬, 漢方薬 | 歯内療法薬, 歯周疾患治療薬, 口腔粘膜治療薬, 漢方医学, 漢方薬の特徴 | 18, 19 | 〃 |
| 30. | 〃 | 口腔機能作用薬 | 唾液腺・味覚・骨に作用する薬 | 18 | 石川 |

Evaluation Criteria 評価は筆記試験により行う。試験は3年次後期試験期間中に実施する。100点満点で60点以上のものを合格とする。

Re-evaluation 行う。

Textbook

- ◇ プリント:必要に応じてプリントを配付する。
- ◇ 参考書:歯科薬理学, 第5版, 2005年(医歯薬出版)
- ◇ 参考書:現代歯科薬理学, 第4版, 2005年(医歯薬出版)
- ◇ 参考書:New 薬理学, 第5版, 2007年(南江堂)
- ◇ 参考書:臨床薬理学, 第2版, 2003年(医学書院)
- ◇ 参考書:カラー図解 これならわかる薬理学, 2006年(メディカル・サイエンス・インターナショナル)
- ◇ 参考書:イラストレイテッド薬理学, 原書4版, 2009年(九善)

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217367>

Contact

- ⇒ Yoshimoto (+81-88-633-9123, yoshimot@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: (月~ 金 16:00-18:00/5F 分子薬理学・教授室))
- ⇒ Ishikawa (+81-88-633-7332, isikawa@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: (月~ 金 16:00-18:00/5F 分子薬理学・准教授室))
- ⇒ Mizusawa (分子薬理学, +81-88-633-9137, mizusawa@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: (月~ 金 16:00-18:00/5F 分子薬理学・第4研究室))
- ⇒ Iwata (+81-88-633-9137, iwatakeo@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: (月~ 金 16:00-18:00/5F 分子薬理学・第4研究室))